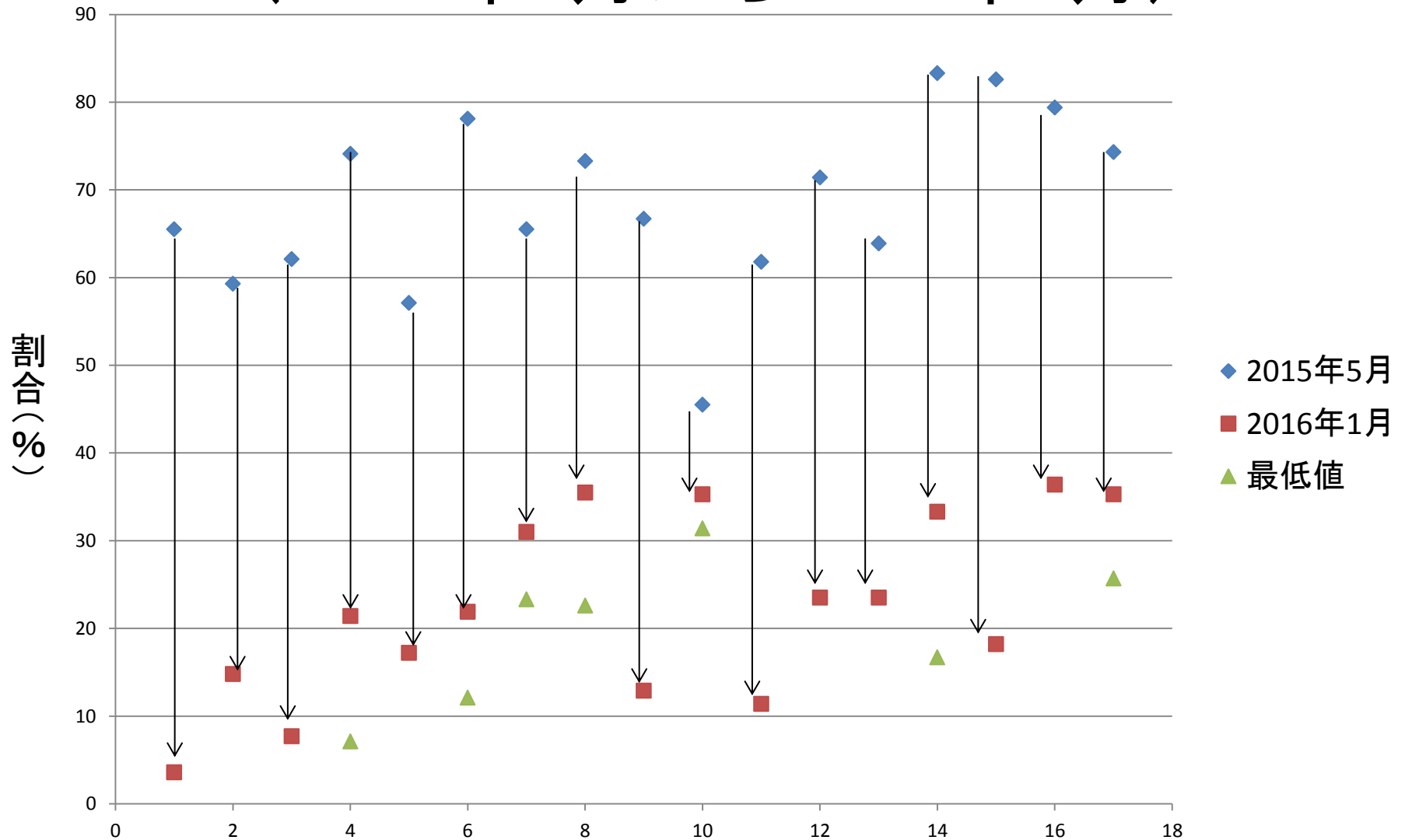


5. 課題と今後に向けて

1. MIM-PMの結果の原因と対応
2. 小中学校間の指導の連続
3. 教員の指導力のさらなる向上

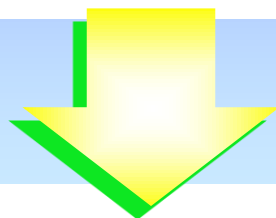


学級内の3rdステージの割合の変化 (2015年5月から2016年1月)



(2016年1月が最低値ではなかった場合、2016年11月あるいは12月の最低値を▲で表した)

- 成果の少ない学級へのサポートのあり方
- 小中学校間の通級指導教室の連携
- 一斉指導における指導方法の工夫



- ◆ 集団づくりの研究推進
- ◆ 短時間MIM指導の継続的な実施
- ◆ 教員の子どもも理解力と指導力のさらなる向上
- ◆ 「短いスパンの学習活動の組立て」を取り入れた授業づくりの研究

●さらに成果を高めるために

成果のあった学級の様子から、どの子にとっても

こんな教室に

●みとめてもらえる

●あきない

●すっきり

◆互いに認め合う
雰囲気のある学級

◆短時間×継続
で集中

◆教室
◆授業の流れ
◆先生の話
がわかりやすい！

市の事業で、互いに見せ合い、高め合う

■学校をまるごと公開する「まるごとパック事業」

■模範となる教員の授業を公開する「授業力向上研修」

■学識経験者や市教委指導主事による学級訪問・研究授業訪問 など

● 2つの文部科学省指定を受けて…

どの子も理解しやすい指導のあり方について
さらなる研究推進をめざす